

# 飯塚市議会議員 うえの伸五の市政報告

## 「ゴーゴー・しんご」 全力投球

### 第二球！



残暑お見舞い申し上げます。

皆さん、こんにちは「うえの伸五」でございます。

先の市議選で、当選させていただいた後、議会や委員会を経験し、本議会では、「災害対策」に関しての一般質問も無事に終え、日々勉強させていただいております。以下、時系列的に「全力投球」活動をご紹介しますいただきます。

なお、活動の詳細につきましてはホームページ

<http://ueno-shingo.com/> をご覧いただきますようお願いいたします。

### 全力投球「活動報告

ルールはルール（六月四日）

（請願の取扱いについて例外を認めよ。という事について）

市民の皆さんの「思いや考え」を実現するのが私たち議員の責務の一つ、少しずつでも現実にしていく努力は惜しみません。ただ、それはルールに則ってやるべきものだと考えています。もし、現行ルールが気に入らなければ変える努力をしなければなりません。

チョット蛇足ですが、6月議会の議案関係書類の厚さは、なんと65mmもあります。

費用弁償制度（六月十二日）

費用弁償「1km37円」で決定について（費用弁償とは交通費的な意味をもっています。）

私は「費用弁償という制度は残しておかないといけない」と考えます。

条例改正、特に制度の廃止は、「その時点や、その場の状況だけでやるべきではない。」と確信するからです。

現在の議員には必要のない制度かもしれませんが、将来にわたり、議員への間口を広く開放するという意味で、1キロ37円が高い安いではなく、制度の存続を選択いたしました。

（自己申告制ですので申告しなければ支給はありません）

一般質問（六月二十二日、二十四日）

「以下、議会での発言内容です。」

議事録とまったく同じとは限らない事をご了承下さい。

上野伸五でございます。

私、初めての一般質問となりますが、今議会では通告に従い「災害対策」について質問させていただきます。どうぞ的確な御答弁をよろしくお願いいたします。

パネル資料の持参につきましてのお取り計らい、議長、誠にありがとうございました。（市長マニフェストと勢田の河川状況）また、このパネル資料の作成には政務調査費を使用しておりません事も申し添えます。

さて、わが飯塚市は2003年7月19日の大水害を受けて、この4年間ハード・ソフトの両面の整備、また行政・市民の両サイドから防災や災害発生時の最善緊急行動について考えをめぐらせていると存じます。

そのような中、昨年1市4町が合併し、齋藤市長の下、「新生飯塚市」がスタートしているところでございますが市長が選挙時に示されたマニフェストやリーフレット内容の進捗具合などに、不安と焦りを感じておられる方も多いのではないかと推測いたしております。

なぜならば、いま「合併して本当に良かった」との大きな声は残念ながら私の耳には聞こえて参りません。

旧町、現在の支所、特に頼田・庄内・筑穂の3支所においては、行財政改革の名の下、職員数の大削減が行われており、当該地区住民は行政サービス低下の不安はもとより、「新飯塚市から見放されたんだろうか」「ふざけるな」という憤慨や「災害発生時における適切な活動が行われるのだろうか、果たして自分たちの命は財産は大丈夫なんだろうか」と、大きな懸念をされているところ です。

先日、決定されました本市の今後10年間のまちづくりのあり方を示す総合計画基本構想の中にも「災害に強いまちづくり」と明記されており、災害からは全市民の生命と財産を守り抜くという強い意思表示と施策の方向性を明示していただければ、市民の皆様方にも真つ直ぐな齋藤市政をもっともつと理解していただく糸口につながると考えます。

防災や災害発生時における、行政の考え・努力・役割・そして今後の取り組みについて明らかにしていただき、各支所、周辺住民の方々の大きな不安を払拭していただくとともに、行政の災害対応について、多くの市民の皆様のご理解をいただけるような質疑応答でありたい、という気持ちを含みまして、質問にうつらせていただきます。

質問「災害対策について」を通じて行政へ要望した事項は以下の通りです。

- 1、 嘉麻市・桂川町との災害情報交換体制の確立。
- 2、 人事異動等に伴う、災害対策マニュアル空白期間の是正。

- 3、 上記マニュアルの職員への周知調査の実行。
- 4、 **予算面の配慮を含めた各地消防団への強力バックアップ。**
- 5、 自治会内の連絡体制整備の促進。

6、 エコ生活を紹介する「エコ新聞」の発行。

7、 自治会との協力の下、災害時要介護者の把握と対応の徹底。

8、 **災害時の支所長決済金額の増額。**

9、 **災害発生時を意識した人事配置。**

10、 ハザードマップの徹底。

11、 災害ボランティアへのスムーズな対応体制の確立。

12、 消防団・市民との定期的な連絡会議の実施。

13、 遠賀川本流以外の河川現状への積極的な対応。

14、 自治会長会などの意見交換会。

15、 **各地の特色との整合性を考えての施策や予算編成。**

只今までのやりとりで明確なように、災害発生時においては特に人員削減の激しい支所では、行政職員だけでは全く手がまわりません。

被害を最小限に抑えるためには、市民の自主災害活動が絶対条件となると思われます、今のうちから、消防団も含めた市民との連絡会議を定期的に行っていたらいいと思います。

**地域のごとはその地区の住民が一番良くご存知です。** 穎田地区

は市内で最も下流に位置しており、住民の皆さんは河川の状況については特に敏感になっております。

勢田の浄水場付近の庄内川と鹿毛馬川の合流地点では、現在

このように土が堆積し、草が茂りスムーズな水の流れを妨げており、こんな状況があちらこちらに散在しております。この数百メートル下流では、もう川が丘かわからないといった状況でございます。

これは、残念ながらと言つか幸いと言つか財政難の飯塚市ではなく福岡県の管理するところでありますが住民のため、私も働きかけをいたしますので、どうぞ市の方からも県に対し積極的な対応を促していただきたいと思います。

こと防災に関しては「市民・行政ともに、やるべき事、やれる事は全てやった。」という理想に少しでも近づけるよう、市民に向かつて大きな防災の旗を振っていただきたいと思います。

**穎田地区ではまちづくり協議会や教育会議などの地域・学校が一体となった独自のまちづくり実績がございます。**

協働のまちづくりの一環として、このような会議体・協議体をより積極的に活用していただいて、独自マップの作成はもとより、防災は家族のため、チョットした事前知識が生死を分けることもある、など、特に自主災害活動組織の必要性、災害発生時の行動・どこに行けばいいのか・災害への心構えを、粘り強く周知いただきたいと思います。

このような事を行うことにより、行政への信頼が深まり市民と行政両サイドからの、より良い防災意識の高まりにつながることも、他の行政施策につきましても地区のご理解を得やすくなると思います。昨日の答弁では21年度までに9億円の市

民負担増「金が無い無い」と言いながら21億かけて工業団地を造成する。この鯉田工業団地造成については選挙前に鯉田地区で行われた公開討論会でも大きな話題になりました。皆さんが思っている以上に市民の皆さんは注目していますよ。

市民に対し具体的な説明責任が果たせなければ、皆さんが落胆するかもしれない。また部長・課長は土日祝日も各地の会議やイベントに出席されたり、毎日早朝から出勤されたり市政のために努力されておられる事も、どうぞ市民に大きくアピールして下さい。

施策をわかりやすく噛み砕いて市民の皆さんに説明するということとは、私たち議員の役目のひとつだとも考えますし、行政の皆さん方への協力は決して惜しむものではないと思います。そのためにも、複数の常任委員会からも指摘や要望が出ていますが、まずは市民の命と財産を守るべく、最善かつ最大限の努力を言葉だけではなく、行動でハッキリと示していただきたいと、考えるところでございます。

市全体の平準化も大切なかもしれませんが、各地区それぞれ歴史や特色を持っております。例えば鯉田地区の特色の一つは市長の選挙時リーフレットにもありますが、特色ある学校教育を指す、その特色ある学校教育とは「教育特区」と明示されております。11月には素晴らしい成果報告がなされる予定ですので今日は深くはふれませんが、ただ、この特区を支え育てているのは、34名の自治会長が中心となった、まちづくり

協議会・それにPTAを含む学校関係者が参加する教育会議、それらに支えられながらもカスガイ役を果たしているのが教育特区なのであります。

この3つが現在までの鯉田地区まちづくりの柱だと私は考えます。

**この柱が揺らげば地区全体が大きく傾く。**

災害対策はもちろん、行政施策の実行には地区住民の理解と行動は不可欠なものであります。今後も市民の皆さまに住み続けたいまちと思っただけのように、いろいろな行政施策や予算編成を講じる際には、ただただ財政状態を盾にするのではなく、このような「地域の特色との整合性」をよくよく熟考していただき、地域住民の信頼や希望を大きく損ねることのないよう、切にお願い申し上げます。

最後に、行政幹部の皆さん方の今後の行動に、大きな期待と希望を寄せながら私の質問を終わります。

どうも、ありがとうございました。

事前打合せ（六月二十七日）

予算委員会での質問打合せ先。（順不同です）

「人事課」「総務課」「財政課」「行財政改革推進室」「産学振興課」「農林課」「環境整備課」「保育課」「管財課」「都市計画課」「鯉田支所」「議会事務局」「生涯学習課」「文化課」等。

予算特別委員会 その1 (六月二十九日)

他の委員さんより、「**額田地区まちづくり**」への、予算計上について質問がありました。質疑は昼休みをはさんで「侃々諤々(かんかんがくがく)」行われました。

「**旧自治体独自予算の補助金・助成金関係は原則廃止**」。このような行政側の発言に、大声で吼えました。

その中で私が強調したのは、合併前の各自治体では、各々の歴史を伴う特色を持っている。**財政難や平準化を理由に全てを押し延べることは許されない。**

額田地区の大きな特色は「**まちづくりと教育特区**」であり、この柱が後退することは、そのまま額田地区の後退につながりかねない。ましてや、先日決定された「**基本構想**」の中で、額田地区は生涯学習機能の核と位置づけられている。だからこそ、今年度予算では、教育費から総務関連費へ計上項目が変更されているのではないのか。

**一度潰された「まちづくり」を元通りに再興すること**はできない。言葉尻は少々違っていると思いますが、このような事を指摘いたしました。

今年度計上されている「**額田地区まちづくり**」への予算は一部20%減です。他の補助金助成金関係は大部分で10%減が常となっています。心外ではありますが、この点は理解しなければならぬのではないかと考えています。

**何でもかんでも「やってくれ」と言っている訳ではありません。**

今ある地域性は出来る限り、守っていかなばならない。ある程度の予算削減は我慢しなければならないが「柱となる大きな特色の存在」そのものを脅かすような行政施策は、絶対に許容できない。

全てが平準化された「**まち**」から連想するのは「個性のない人間」。

私はそんな事も考えてしまいます。

予算特別委員会 その2 (七月三日)

平成19年度的一般会計予算額は534億8千万円で、昨年度の614億9百万円と比べると「12.91%の減」と超緊縮財政です。

中でも、18年度と19年度の補助金類を比較した場合、235項目中「補助廃止87・金額削減95・同金額13・金額増額40」であり、金額が増額された40項目も、そのホトンドが、他の補助金との統合によって増額となったものであります。

「**うえの伸五**」が行った、**予算委員会での質問事項。**

- ・職員採用試験のスケジュールについて。
- ・公園等のトイレ管理について。
- ・自主防災組織の育成コミュニティ助成金について。
- ・中学生海外研修事業について。

- ・鹿毛馬神籠石について。
- ・図書館図書費について。
- ・各地区施設利用料について。
- ・鯉田工業団地造成について。

予算特別委員会 総括として（七月四日）

他委員の分も含めて質疑を整理していますが、内容は多種多様・その量も多く、言葉の使い方一つで伝わり方が変わってしまします。

「何を・どれだけ・どの様に」皆さんにお伝えすればいいのか、大変迷います。

「まずは飯塚市の財政状態の立て直しにご協力いただきたい」との行財政改革ですが、

以下、**特に気がかりだった項目**を列挙します。

- ・鯉田・庄内の幼稚園バス有料化。
- ・まちづくりや教育関係補助金の削減。
- ・鯉田工業団地の造成調査費用。
- ・長寿祝い金制度の見直し。
- ・各種証明書の発行手数料の値上げ。 など等です。

行政執行部から議案提出された予算内容の変更を求めるには、代替案を作成しなければならぬそうです。議員側にはノウハウも時間も限られており、実際には非常に困難であります。

事実上は「予算原案通り可決」となってしまうのが通常なのかもしれませんが、次年度以降の予算も念頭に、シッカリと質疑をこなさなければならぬ。と、強く考えております。

平成19年度第2回定例会最終日（七月六日）

政務調査費の20%削減（年間60万円より48万円へ）が、数人の議員より討論はありましたが、大多数の賛成をもって可決されました。今後は、その使途や報告書の積極開示などが課題だと考えます。

私の場合は、この「ゴーゴー・しんご」印刷代が、主な使途になりそうです。

議会を終え、会派「同志会」控え室にて、田中博文議員、鯉川信二議員より、今後の活動について、広い視野での助言をいただきました。先輩方に、気付かぬところで迷惑をかけたたり、ご心配をいただいております。ありがとうございます。

#### 年齢の訂正。

前回の市政報告で、先輩方の年齢表示を間違えておりました。正しくは、**田中博文議員48歳・鯉川信二議員49歳**です。

お詫びして訂正させていただきます。申し訳ありませんでした。その後、鯉田地区の自治公民館長役員会で、予算委員会・本議会の報告。今後の「まちづくりや教育特区」への取り組みについて、**署名活動の提案**をいたしました。（これは、教育特区予算の継続要請として、署名運動が実現いたしております。あり

がとつございます。)

市職員の皆さんに特にお願いしている事 (七月十一日)

「何事も、先ずは、住民の方々の意見を聞いて下さい。取り組もうとしている事が、市民の不利益になる事だったら尚更です。頭ゴナシだったら、誰でも・何にでも、反対したくなりますよ。」と、いうことです。

台風4号接近 (七月十四日)

雨も風も強くなりそうです。

選挙活動時から、穎田地区各所に立てていただいていたおつた「うえの伸五 41歳 全力投球」のたて看板を、今朝、全て回収にまわりました。行って良かった。

看板のいくつかは、脚がズボズボで、危険な状態になっておりました。

発達障がい者研修会 (七月二十日)

「発達障がい」には、多動性障がい・自閉症などが含まれ、その割合は通常学級内に「6.3%」在籍しているそうです。(文部科学省調査)

教育長のお話によると、飯塚市には約1万人の子ども達がいいますので、統計上は「630人」の発達障がいを抱える子ども達がいる事となります。

この障がいを誤解したり、気がつかなかったがために、家庭内虐待やイジメに、つながるケースも多くあるそうです。障がいを持つ子どもさんや、ご家族に対して、まわりを巻き込んでの支援には「先ずは多くの人に理解してもらつ」という事が重要だと思います。

福岡県インターシップ推進協議会事前研修 (七月二十一・二十八日)

福岡・北九州会場で約380名の参加者の皆さんへ、1時間程度の、お話しをさせていただきました。

以下、ホンの一部抜粋。

・リーダーの定義、ジャック・ウエルチ曰く、「リーダーとは目標を明確に定め、人々を勇気付け、部下の能力を引き出す環境・雰囲気を作り出し、常に勝とうとする意思と能力を持つ者」

・前を向いて歩こう、後ろはモチロン・上の道も下の道も、自分の道には関係ない。

・自分への言い訳ほどむなししいものは無い。他人は騙せても自分は騙せない。

・人生の道に行き止まりはない。

私も、自分に言い聞かせながら「全力投球」です。

政治信条（七月二十日）

「できる事はスグやる。」

できない事は、その理由を付けてお返事する。」

議員はコレがやれないと資格無し。だと、思いますし、この行動を、もしも私が怠れば、次の選挙には当選しないでしよう。

行政職員は、どうなんでしょうか？職員数が少なくなり、特に支所では、合併前のように細やかな対応は、難しいと思います。自分達で発見する事が難しい、だからこそ、連絡を受けた事項に関しては、報告・連絡・相談、「ほう・れん・そう」は、シッカリと、していただきたい。職員の皆さんが優秀だということは、私も十分理解していますが、チョットした心遣いが、お互いの信頼につながっていくのだと考えます。

飯塚市が目指す「市民と協働のまちづくり」は信頼関係が無ければ成り立ちません。連絡しなかったから「あんたクビ」なんて事には、なりません。市民の皆さんと、直接触れ合う職員さんには特に、「行政はサービス業」という意識を、強く持つていただきたいと、お願い申し上げます。

私の議会や委員会での発言については、先輩議員の方々から、多くの「苦言」や「ご意見」をいただきました。自分自身で、理解・判断しながら、信じる道を進んでまいります。

### 現在の役職

市民経済委員会の副委員長

ふくおか県中央環境施設組合の監査委員

飯塚地区防犯協会の理事

議会運営委員会・企業立地促進審議会・中小企業融資制度審議会

農業振興地域整備促進協議会・暴力追放生活安全推進住民会議

以上の委員職

### 経験役職

第1次総合計画基本構想特別委員会の副委員長

予算特別委員会の委員

「出来ることは、スグやる。」

出来ないことには、キチンと、その理由を付けて、お返事する。」と、いう信条を持って、日々の活動に「全力投球」で、取り組んでおります。

一人が気付いた事には、実は何人もの方が困っているのかもしれませんが、気がついた事があれば、どうぞ、お気軽にお知らせ下さい。今後とも、よろしくお願いいたします。

「ご意見・ご要望をお聞かせください」

市の仕事やまちづくりなどについての、「ご意見・ご要望」などお気軽にお寄せください。

### サポーター募集

「ゴーゴー・しんご」配布のご協力（ご近所分だけで結構です）

市政へのご意見、政策案へのご協力などなど。

やったるー。と思っただけの方はメール又はお電話下さい。

【連絡先】 080 17992 5545

【携帯アドレス】 gogo-shingo@docomo.ne.jp

【パソコンアドレス】 info@ueno-shingo.com

「全力投球」活動ホームページです。是非ご覧下さい。

【ホームページアドレス】 <http://ueno-shingo.com>